

大津町の宝

「彦しゃん水車」回り続けて200年



工場内の木製水車
制作者 藤原清司氏
直径3.2m 5馬力



大津町矢護川初生神社西側、のどかな田園風景の中に「大村彦水車」があり、4代目大村一幸さん、5代目彰一さんが水車を動力とした精米・製粉業を営まれています。創業文化9年（1812年）初代彦次郎氏の名前から「彦しゃん水車」の愛称で200年間回り続けています。

教育委員会委員紹介

田代吉人様、河津洋子様が今年退任。ご苦勞様でした。

新たにお二人の方が教育委員として任命されました。

笠博典様

大津町杉水 63歳

首藤誠治様

大津町大津 61歳



編集後記

3月11日、東日本大震災・福島原発事故から7ヶ月が過ぎ東北地方は厳しい冬が間近に迫っています。安住の家となにより安定した雇用の確保が求められます。原発の放射能被害で家も仕事も故郷もなくされた方たちの悲しみはいく

表紙紹介

(働く人)



「世間で役に立たなくなった鉄も、私にとつては、相変わらずの懐かしい友たち。」

プロフィール

アサヒ鉄工代表

藤本高廣さん(53歳)

高校卒業後、父の営むアサヒ鉄工を継ぐ。父から学んだ鉄職人としての基盤を土台に、独自の発展性を加え現在に至る。今年10月1日、南阿蘇村白水にオープンした

「阿蘇ライダーズ・ベイス・サービスステーション」前の広場には藤本氏が製作した全長6・5mのバイクのミニチュメントが設置してある。個展や展覧会への出展なども度々行っている。住所 大津町杉水在住 詳しくはホームページで。

HP

<http://asahironworks.zouri.jp/>

(文責 源川)

ら金を積まれても収まりません。

原発にさような。自然エネルギーの急速な普

及は、孫子への責任、地球人類への私たちの責任ではないでしょうか。

(荒木)

議会広報編集特別委員会

委員長

荒木 俊彦

副委員長

金田 俊二

委員

吉永 弘則

源川 貞夫

府内 隆博

この議会だよりはリサイクル推進のため再生紙を利用しています。